実施計画事業

実施計画事業名	多様な子育で	乙支援	関 係 所管部	子ども・	若者部			
目標	家庭で、ゆとりを	をもって子	₹育てができる環境整備と保育	育サービス	スの充実を	進める。		
事業目的	る。	家庭での子育て不安を解消するため、相談、支援体制を整備し、在宅子育て支援を充実する。 また、多様な手法により保育サービスの種類、量を拡充するとともに、質の向上を図る。						
		指標	票名	平成23	年度末	平成25年度末		
	1)子育て活動団体右	ネットワ-	- ク参加団体数	65	団体	100団体		
 成果指標								
	地域の子育て支援拠点や子育て活動団体の交流の機会を提供し、地域社会で子育てを支援する体制づくりを進めることで、地域の子育て力の向上を図り、在宅子育て支援を充実する。そのため、ネットワークに参加する団体数を指標とする。					援を充実する。そ		
事業費	総事業費		平成24年度	平成25年度				
計画	8,771,544千		4,331,093千円		4,440,451千円			
実績	7,746,130千	<u>円</u>	3,892,064千円		3,854,066千円			
年度別	フタケンション	口抽	平成24年度		平成25年度			
目標と実	子育て活動団体 ネットワーク参加	目標 実績	100 92			100 103		
績	団体数(団体)	 達成度	92%		103%			
2年間の 実績・達 成度に対 する評価	地域の子育て支援拠点や子育て活動団体の交流の機会を提供し、目標を上回る103団体(内訳:子育て支援拠点7団体、子育て活動団体96団体)による子育て活動団体等ネットワークを構築することができ、地域社会全体で子育てを支援する体制づくりを進めることができた。							
保育サービスなどの充実【事業番号 1601】 多様なサービス提供主体による保育サービスの充実を図るとともに、質の向上を 事業体系 在宅子育て支援【事業番号 1602】 子育てに関する情報提供を充実させることにより子育て不安を軽減するとともに 動団体等の交流と学びの機会を提供し、地域の子育て力向上を図る。								

事業番号	1601	事業名	保育サー	·ビスなど	の充実		所管部	子ども・若者部		
ねらい	る巡回指導	尊などを通		体の保育サ	ービスの			に、民間保育サービ た、在宅子育て支援		
			忍証保育所.					目標		分類
			どの施設整			平成23	年度末	平成25年度末	L	分類
事業内容	充実させる2 世田	る。 谷区保育フ 支援・親支	で デログラム で 接・保育	に基づく、	地域ネッ	充 本園87 園22か所	7か 育戸病充2保実員区に 所 の 児 事型0人で基 30 な	1)認可保育園の拡 充 本園95か所、 園24か所 2)認証保育所の 3)病児・病 51か所 3)病児・拡充 7か所、後児保育所の 変所、44人 4)家庭所、44人 4)家庭所、海 (保育所と に の実施 で り世田 の実施 を り で り で り で の 実 の と り の と り の と り の と り し り し り し り し り し り し り し り し り り し り し り り し り り し り り し り り し り	2	2
					-	平成24年度	Ĕ	平成25年度	F	
	認可保育	園及び分園	<u></u> -	目標		計90、分園		8(本園計98、分園		
	(新設箇月		i ∨ / 1)/∆ / L	実績	6 (本園計90、分園計25)		園計25)	1(本園計91、分園		5)
		/ 1 2/5/		達成度	120%			13%		
左连叫	認証保育的	听の拡充	(新設箇所	目標		7 (計52)		9 (計61)		
4TE J.B. 1811	数)		/ ///	実績 達成度		7 (計52)		7 (計59)		
日保と夫				達成度 目標	1 / 킄 .	100% -7か所、4	4 ()	78% 1 (計9か所、5	6 <i>l</i>)	
		後児保育室	図の充実 しんこう こうしん こうしん かんしょ しんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しんしょ しん	実績				1 (計9か所、5		
	(新設箇月	听数)		達成度			· / • /	1 (11977-77), 30		
				目標		実施		実施		
	世田谷区位	保育プロク	ブラム充実	実績		実施		実施		
				達成度		100%		100%		

	平成24年度	平成25年度
	①認可保育園の拡充	①認可保育園の拡充
	新設5か所(本園3、分園2)、改築2か所	新設(本園)8か所
	(本園計90か所、分園計24か所)	(本園計98か所、分園計25か所)
	②認証保育所の拡充 新設3か所(計48か所)	改修1か所
	地域密着型 新設4か所(計4か所)	②認証保育所の拡充
年次別	③病児・病後児保育の拡充	駅前型 新設4か所(計52か所)
計画	定員2人増(計7か所、44人)	地域密着型 新設5か所(計9か所)
	④家庭的保育事業(保育所実施型)の実施	③病児・病後児保育の拡充
	定員30人増(計60人)	新設1か所、6人(計9か所、56人)
	グループ保育型 定員30人	④家庭的保育事業(保育所実施型)の実施
	⑤世田谷区保育プログラムに基づくの事業の充実	
		グループ保育型 定員60人増(計60人)
		⑤世田谷区保育プログラムに基づくの事業の充実
事業費	3,909,712 千円	4, 123, 308 千円
	- N- 1	- N

事業費	3,909,712 十円	4, 123, 308 十円
	平成24年度末実績	平成25年度末実績
実績	①認可保育園の拡充 新設6か所(本園3、分園3)、改築2か所 (本園計90か所、分園計25か所) ②認証保育所の拡充 駅前型新設3か所(計48か所) 地域密着型 新設4か所(計4か所) ③病児・病後児保育の拡充 新設1か所(6人)、既存施設の定員2人増 (計8か所、50人) ④家庭的保育事業(保育所実施型)の実施 定員5人増(計35人) ⑤世田谷区保育プログラムに基づく事業の充実	①認可保育園の拡充 新設(本園) 1か所 (本園計91か所、分園計25か所) 改修1か所 ②認証保育所の拡充 駅前型 新設4か所(計52か所) 地域密着型 新設3か所(計7か所) ③病児・病後児保育の拡充 新設1か所、6人(計9か所、56人) ④家庭的保育事業(保育所実施型)の実施 定員15人増(計50人) グループ保育型 定員57人増(計57人) ⑤世田谷区保育プログラムに基づく事業の充実
事業費	3, 482, 074 千円	3, 554, 890 千円

保育施設の整備について、平成24年度には、子ども計画に掲げる整備計画に基づいて行ってい る、保育サービス待機児の解消に向けた基盤整備に加え、追加対策として当初計画に160人分を上積 2年間の みした。さらに、緊急対策として平成25年6月までに300人の定員拡大を図ることとし、平成24年度 実績・達末で876人分の保育施設を整備した。平成25年度には、当初計画及び緊急対策に加え、4月に新追加 成度に対対策を講じるなど、合計1,550人の定員拡大を目指し整備に取り組んだが、震災復興や増税前の駆け する評価 込み需要による資材や人手不足等の影響により、一部に開設遅延が生じた。 病児・病後児保育施設については、子ども計画後期計画に基づき、各地域1か所以上の病児対応施

設の開設を実現できた。

《関連する計画》 世田谷区子ども計画後期計画

	予算事業名	所管課名	
	保育施設整備	保育計画・整備支援担当課	
	認証保育所事業	保育課	
構成する予算事業 (25年度)	病児・病後児保育事業	保育課	
(== 1 /22)		保育課	
	子育て支援事業	保育課	
	私立保育園増改築資金貸付	保育課	

事業番号	1602	事業名	在宅子育	すて支援			所管部	子ども・若者部		
ねらい					子どもを育 在宅子育て			- 実感できるよう、地 。	域社会	会で
	1 在宅	で子育てを	している	世帯やひ	とり親家庭		計画	目標	事業	分類
					提供を充実			平成25年度末		分類
事業内容	していく。 2 地域の ろば*1やり	の子育て支 児童館の子 もを育む活	で援拠点施 子育て支援 計動団体等	設である の充実を の交流の	おでかけひ 図る。 機会提供や	1) 地域の 援拠点の 2) 子育て活	子 育 実 動 ラ 大 動 ラ の 大 大 の の の の の の の の の の の の の	1)地域の元宝 接拠点の充実 2)子育て活動団クの 等ネットワーク5 等ネットで流会5回 3)子育で事業の充 ション事業 5か所 4)子育で情報の充 実	2	2
						平成24年度	Ė	平成25年月	헌	
				目標				ひろばリーダー交流 ばスキルアップ研修 証		
年度別 目標と実 績	子育て支援人材の養成プログ ラム充実		実績	実績 5回		[°] 研修実施 いてプロ	ひろばリーダー交流会 6回 かろばスキルアップ研修実 4回 リーダー交流会においてプ グラムの見直しを実施		実施	
				達成度		100%		100%		
				目標	運営		運営			
	子育てステーション整備		実績	+			運営			
	7 13 4	, , , , ,	JII // //	達成度		100%		100%		
			平成24年月					平成25年度		
年次別 計画	②子育て注 交流会 ③子育て注 0歳児の	子育で支援 舌動団体等 5回 ステーショ ステーとス 青報の充実	ネットワ ン事業の テイ 1か	一クの構充実 5点		①地域の子育て支援拠点の充実 ②子育て活動団体等ネットワークの構築 交流会 5回 ③子育てステーション事業の充実 5か所 0歳児のほっとステイ 2か所(計3か所) ④子育て情報の充実				
事業費			49	1, 381	千円			317, 143	- 千	円
ア小只		I			1 1 4		 1		· !	1 4
年次別 実績	平成24年度末実績 ①地域の子育て支援拠点の充実 ②子育て活動団体等ネットワークの構築 交流会 5回 ③子育てステーション事業の充実 5か所 の歳児のほっとステイ 1か所 ④子育て情報の充実		平成25年度末実績 ①地域の子育て支援拠点の充実 ②子育て活動団体等ネットワークの構築 交流会 5回 ③子育てステーション事業の充実 5か所 0歳児のほっとステイ 2か所(計3か所) ④子育て情報の充実							
事業費			409	9, 990	千円			299, 176	千	円
2間の実 績・達成	おでかけひろばのスタッフの研修を実施したほか、ひろばリーダー交流会を開催し、地域人材の育成に向けた支援を行うことで、人材プログラムの充実を図った。 5地域に整備した子育てステーションやおでかけひろばの運営を通じて、在宅を含めたすべての子育て家庭を対象にした支援の充実を図った。									

- *1 おでかけひろば 在宅子育て世帯の育児のストレスや不安感の軽減を目的とし、親子が自由に集い、親同士の交流や 子育て相談ができる場。
- *2 子育てステーション 利便性の高い駅前に設置する「あそび」、「そうだん」、「あずかり」、「ほいく」の4つのサービスを集中させた多機能型の子育て支援拠点施設。

《関連する計画》 世田谷区子ども計画後期計画

	予算事業名	所管課名	
the to a second the state of the	子育てステーション事業	子ども家庭課	
構成する予算事業 (25年度)	子育てつどいの広場	子ども家庭課	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	在宅子育て支援	子ども家庭課	
	子ども・子育て総合センター運営事業	子ども家庭課	

実施計画 事業名	子どもを守る仕組み	関 係 保健福	・若者部 総合支所 祉部 世田谷保健所 員会事務局				
目標	乳児のいる家庭の訪問事業などを通し、児童虐待の早期発見や予防に取り組み、安心して子育てができる環境を整備するとともに、子どもの人権擁護の取り組みについて検討を進める。						
事業目的	児童虐待を防止するため、虐待の早期発見と見守りの仕組みづくり、身近な相談機能の充実 など子育てセーフティネットの整備を推進する。また、子どもの人権擁護の取組みについて検 討を進める。						
	指標	票名	平成23年度末	平成25年度末			
	1)身近な子育て相談の利用件	=数	31,000件	33,000件			
成果指標		成果指標設定の考え	 方				
	児童虐待を防止するために であり、子育て相談の利用者	には、子育て不安の解消に効勢 が数を成果指標とする。	果的な身近な相詞	炎機能の充実が不可欠			
事業費	総事業費	平成24年度	.5	平成25年度			
計画	530,166千円	243,376千円	286,790千円				
実績	483,536千円	226,795千円		56,741千円			
年度別	自近なスタイ和談 目標	平成24年度 32,000	-	平成25年度 33,000			
	分世な丁月 (旧談 宝鳥	32,009		44,770			
績 	の利用件数(件)	100%		136%			
実績・達 成度に対 する評価	い地域支援体制の強化を図ることにより目標を達成できた。						
事業体系	児童虐待に機敏に対応し、 チーム*1の専門性を生かした 後期に効果的な援助を行うた 子どもの人権擁護の仕組みつ 声をあげにくい子どもの教	務を行い、必要に応じて調査や関係機関との調整を行った。 児童虐待防止対策の充実【事業番号 1701】 児童虐待に機敏に対応し、虐待の進行防止、再発防止に取り組むため、児童虐待対策支援 チーム*1の専門性を生かしたバックアップを強化する。また、心身が不安定になりやすい産 後期に効果的な援助を行うため産後ケア事業*2等による産後不安解消事業を拡充する。 子どもの人権擁護の仕組みづくり【事業番号 1702】 声をあげにくい子どもの救済と問題解決に向け、子どもの人権を尊重し確保する更なる取組 みとして、他自治体における行政から独立した第三者機関である「子どもの人権オンプズパー					

- * 1 児童虐待対策支援チーム 困難ケースの緊急対応や人材育成、虐待対策ネットワークの調整や調査研究、支援サービス の基準管理、企画立案などを実施し、子ども家庭支援センターの児童虐待ケースを支援する
- *2 産後ケア事業 心身ともに不安定になりやすい生後4ヶ月未満の子どものいる家庭を対象に、育児不安の解 消を目的とした、宿泊ケア(母子ショートステイ)や通所ケア(母子デイケア)を実施する 事業。

事業番号	1701	事業名	児童虐待	∜防止対策	の充実		所管部	子ども・若者部 総合支所 世田谷保	兴健 所	
ねらい		児童虐待の予防施策として、孤立した子育て家庭の育児不安を軽減し、子どもに関する相談機能 の充実や自立支援への援助、虐待防止ネットワークの構築を進める。								
				業や産後ケ				目標		分類
事業内容	よる虐待 の拡図る子 を図る子 接協記 化を図る。 の と の と の と の と の と の と の と の と の と の	予防への取 権により、 もを守るネ 議会などの 書待対策、	双組みを行 妊娠期か ベットワー)充実によ	期うら クり 全。 見ま育 し虐 を いた児 で対 価	両親学級 安の解消)要保護児 対策機能強	1)産前か での効果 虐待予防 実	的施 待一 待*2能家 級な策 防ク 対のの庭・児の 止の 策サ確訪 両童充 拡 支 立問 親	平成25年度末 1) 産前が果た 1) 産前効果を産り での対すり をでするでは、 1) での対すり をでするでは、 2) 児童トク をでするでは、 2) 児童トク をでするでは、 3) 児童・ク が、 3) 児童・ク が、 4) 乳の 4) 乳の 5) 段級 5) りの 5) りの 5 りの 5) りの 5 りの 5 りの 5 りの 5 りの 5 りの 5 りの 5 りの 5	2 2	3
								平成25年月	ŧ	
	産後不安解消事業の充実			目標			利用日剱延へ 4,18 枠8室、再利用枠1,) 日(基本	
					利用日数 延べ3,935日		利用日数 延べ3,427日			
				達成度		100% 82%		·		
年度別					要保護児童支援協議 全区協議会 2回 地域協議会 各所2回			要保護児童支援協議会 全区協議会 2回 地域協議会 各所2回程度		
	児童虐待防止ネットワークの 拡充強化	·	実績	要保護児 全区協議 地域協議	会 2回	<u>—</u> ———————————————————————————————————	要保護児童支援協議会 全区協議会 2回 地域協議会 16回			
				達成度		100%		100%		
		対策支援チ	ームのサ	目標	同行訪問 回程度	• 事例相	談等 100	支援会議等の出席 同行訪問 ・事例相 回程度	談等	100
	ポート			実績	支援会議 同行訪問	• 事例相影		支援会議等の出席 同行訪問 ・事例相		
				達成度		100%		53%		

	平成24年度	平成25年度
	①産後ケア事業の充実と訪問事業等による産後	①産後ケア事業の充実と訪問事業等による産後
	不安解消事業の充実	不安解消事業の充実
	産後ケア事業利用日数(延べ)4,180日	産後ケア事業利用日数(延べ)4,180日
	②要保護児童支援協議会と要配慮児童支援ネット	②要保護児童支援協議会の効果的な活用による
	ワークとの連携体制の検討 全区協議会2回	連携方策の検討
	③児童虐待対策支援チームによるサポート、緊急	
年次別		③児童虐待対策支援チームによるサポート、緊急
計画	同行訪問等100回程度	介入機能の充実 支援会議等への出席300回程度
	④養育困難家庭の自立支援援助と被虐待児童ケア	
	の本格実施 学生ボランティア派遣300回	④養育困難家庭の自立支援援助と虐待を受けた子
	親支援事業54回	どものケアの本格実施
	⑤乳児期家庭(新生児)訪問事業 訪問率100%	親支援事業54回 学生ボランティア派遣300回
	⑥母親学級・両親学級の改善	⑤乳児期家庭(新生児)訪問事業 訪問率100%
	参加者数5,500人(うち休日開催1,800人)	⑥母親学級・両親学級の拡充
		参加者数5,500人(うち休日開催1,800人)
事業費	241,347 千円	258, 951 千円
	五十0.4 年度七中体	五十05万万

	平成24年度末実績	平成25年度末実績
	①産後ケア事業の充実と訪問事業等による産後	①産後ケア事業の充実と訪問事業等による産後
	不安解消事業の充実	不安解消事業の充実
	産後ケア事業利用日数(延べ)3,935日	産後ケア事業利用日数(延べ)3,427日
	②要保護児童支援協議会 の効果的な活用による	②要保護児童支援協議会の効果的な活用による連
	連携方策の検討 全区協議会2回	携方策の検討 全区協議会2回 地域協議会16回
	③児童虐待対策支援チームによるサポート、緊急	③児童虐待対策支援チームによるサポート、緊急
年次別	介入機能の充実 支援会議等への出席 246回	介入機能の充実 支援会議等への出席262回
実績	同行訪問等 126回	同行訪問等 18回
	④養育困難家庭の自立支援援助と被虐待児童ケア	④養育困難家庭の自立支援援助と虐待を受けた
	の本格実施 学生ボランティア派遣 303回	子どものケアの本格実施
	親支援事業54回	親支援事業58回 学生ボランティア派遣370回
	⑤乳児期家庭(新生児)訪問事業 訪問率93.5%	⑤乳児期家庭(新生児)訪問事業 訪問率95.1%
	⑥母親学級・両親学級の改善	⑥母親学級・両親学級の拡充
	参加者数 4, 785人(うち休日開催1, 394人)	参加者数4,699人(うち休日開催1,481人)
中米井	005 000 4 11	000 747
事業費	225, 038 千円	230, 747 千円

産後ケア事業では緊急度の高い母子の利用促進をはじめ、各地域の子ども家庭支援センターに繋 2年間の | げる等、虐待予防、防止に取り組んだ。要保護児童支援協議会では、実務担当者による周産期部会 実績・達において産科医療機関と子ども家庭支援センターの連携強化のために情報共有の仕組みづくりを推 成度に対進した。児童虐待対策支援チームによる地域サポートでは、支援会等に出席、支援する中、訪問等 する評価への助言を実施した。学生ボランティア派遣事業では、各子ども家庭支援センターと連携し、モニ タリングを定期的に行いながら、効果的に派遣することができた。

*1 産後ケア事業

心身ともに不安定になりやすい生後4ヶ月未満の子どものいる家庭を対象に、育児不安の解消を 目的とした宿泊ケア (母子ショートステイ) や通所ケア (母子デイケア) を実施する事業。

*2 児童虐待対策支援チーム

困難ケースの緊急対応や人材育成、虐待対策ネットワークの調整や調査研究、支援サービスの基 準管理、企画立案などを実施し、子ども家庭支援センターの児童虐待ケースを支援するチーム。

《関連する計画》 世田谷区子ども計画後期計画

	予算事業名	所管課名
構成する予算事業	子ども家庭支援センター運営事業	子ども家庭課
	セーフティネットの整備	子ども家庭課
(25年度)	産後ケア事業	子ども家庭課
	乳児期家庭(新生児)訪問事業	健康推進課
	母子保健知識等の普及と啓発	健康推進課

事業番号	1702	事業名	子どもの	人権擁護	の仕組み	づくり	所管部	子ども·若者部 教育委員会事務局 保健福祉部		
ねらい	機関であるけた検討され	る「子ども を行う。	の人権オ	ンブズパー	ーソン」制		きにしなが	ける行政から独立し ら、新たな仕組みづ		
事業内容	する仕組る見募集の	みづくり」 結果を踏ま	った「子ど の考え方 ミえ、声をど]けた仕組る	・方向性の あげにくV)公表・意 \子どもの	平成23 子どもの。 の新たな付 討	年度末 人権擁護	目標 平成25年度末 子どもの人権擁護 の新たな仕組みに 基づく取組み		分類 分類 2
年度別				目標	新たな仕組	平成24年度 組み検討	2	平成25年月 子どもの人権擁護機 相談・救済、啓発事	と関の	
目標と実績	子どもの) 組み検討	人権擁護の	新たな仕	実績	新たな仕組条例の改		を、子ども	子どもの人権擁護機 置、相談·救済、啓 実施		
年次別 計画	平成24年度100%100%①子どもの人権擁護の新たな仕組みづくりに対する意見募集結果の公表②子どもの人権擁護の新たな仕組みの検討・準備									
事業費				2, 029	千円			27, 839	千	·円
年次別 実績	る意見 ②子ども ③ 子ども 24年12 ④ 子ども	の人権擁護 募集結果の か人権擁護 条例の日公有 の人権擁護	24年度末 その新たな付 の公表 をの新たな付 E 区議会第 F 平成25年 をに関して でネルディ	仕組みづく 仕組みの榜 34回定例 54月1日 のシンポ	計・準備 会 平成 部施行 ジウム	の人権i サポー ②平成25: 3階に「	条例を改団 雑護機関 ト委員)を 年7月に子 せたホッ 務を開始す	☆25年度末実績 Eし、平成25年4月に (せたがやホッと子。 ご設置した。 ども・子育て総合セ と」窓口を開設し、 「るとともに、啓発₹	ビも ンタ- 相談	_
事業費				1, 757	千円			25, 994	千	·円

平成24年12月に子ども条例を改正し、平成25年4月に子どもの人権擁護機関(通称:せたがやホッと子どもサポート)を設置、同年7月より、子ども・子育て総合センターにて相談等の業務を開始した。

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

業務開始以来、平成26年3月までの間で132名の子どもに関する相談等を受け付けてきた。その内容は、いじめ、対人関係、学校の対応、家族関係など多岐に渡り、必要に応じて、調査および関係機関との調整を行った。

区立・私立小・中学校や児童館での「せたホッと」の積極的なPRを通じ、子どもへの認知度を向上させることができた。今後、より一層気軽に利用できる窓口となるよう、各種出前講座などの啓発活動を充実させていく。

構成する予算事業	予算事業名	所管課名
(25年度)	子どもの人権擁護の推進	子ども家庭課

実施計画 事業名	世田谷の文化 りと生涯スポー				部 推進担当部 会事務局			
目標	(1)区民が文化 (2)身近な地域	世田谷の文化・個性を活かしたまちづくりを進めるため、 (1)区民が文化を通して心の豊かさや潤いを享受できる環境をつくる。 (2)身近な地域での生涯学習活動やスポーツに区民がより主体的に参加し、楽しめる環境づくりを進める。						
事業目的	の文化活動や創造流	活動を支援 主体的に生	0個性などを活用した区民の値 でする。また、区民が、身近な 注実学習活動やスポーツ、レク	よ地域で文	化・芸術	元親しむ機会を提		
		指標	票名	平成23年	丰度末	平成25年度末		
	1)「世田谷芸術百事	華∗₁」参加	1者数	22万		27万人		
成果指標	2)総合型地域スポー	ーツクラブ		6クラ	ラブ	8クラブ		
			成果指標設定の考える	<u> </u>				
	文化・芸術イベント「世田谷芸術百華」は、区内の文化施設や文化事業などを活かして、区民が身近な地域で文化・芸術に親しむ機会を提供するものであることから、文化・芸術が区民の身近なものとして広まっていくことの指標として、参加者数を目標値とする。 国のスポーツ基本計画においては、中学校区を単位とした設置が望ましいとされているが、当面の間年度1クラブずつの設置を目標値とする。							
事業費	総事業費		平成24年度		平月	艾25年度		
計画 実績	393,334千F 353,797千F		152,510千円 139,910千円 平成24年度		213	,824千円 ,887千円 #25年度		
	「世田谷芸術百	目標	<u> </u>		+ /-	成25年度 27		
年度別	華」参加者数	実績	31			19		
目標と実	(万人)	達成度	124%			70%		
績	総合型地域スポー	目標	1 (計7クラブ)			8クラブ)		
	ツクラブ数 実績 0(計6クラブ) 1(計7クラブ) (クラブ数増) 達成度 0% 50%							
	<u>(ソノノ数増<i>)</i></u> 	<u> </u>	U 7⁄0			3 U%		
実績・達 成度に対	機会の創出など、株がみられたが、多あふれるまち世田で・総合型地域スポーが、平成25年度4月・区民、団体、区	様々な取組 くの区民が らいのの のの り いり い り い り い り い う こ り う こ り り り り り り り り り り う り う う う う)支援や商店街との連携による 引みを行った。世田谷芸術百 が身近に文化・芸術にふれるる 見に向けて、まちの魅力を高め がについて、平成24、25年度しれた若林クラブの1クラブとか は連携し、区民が生涯学習活動 文化財の啓発、体験の場とし	幸への参加 ことがでいる こるこれでいる こそれた。 いを親しむ	者数は、 、「文化 できた。 1クラブ(ことがて	天候によって増減 と・芸術を育む個性 の設立を目指した ごきる環境づくりを		

世田谷の地域文化の創造、発信【事業番号 1801】

区民が身近なところで文化・芸術に触れる機会を拡充するとともに、区民の文化・芸術活動 を支援する。

|生涯学習・郷土の歴史文化の振興【事業番号 1802】

区民が生涯にわたり学習できる機会の提供や環境づくりを推進する。また、郷土の地理的・ 歴史的な特徴を理解し、愛着を持ち、世田谷のよさを発信していく子どもを育てる取組みを推 進する。

|生涯スポーツの振興【事業番号 1803】

事業体系

区民が、生涯を通じて「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」気軽にスポー ツ、レクリエーションに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会(「スポーツの世田 谷」)の実現を目指す。

|知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実【事業番号 1804】

図書館機能を知と学びと文化の情報拠点として充実し、生涯学習活動の基盤となる地域の読 書環境づくりを推進する。

|世田谷区における「学問の創造と交流の場」の再構築【事業番号 1805】

少子高齢化など社会環境の著しい変化に対応しつつ、高まりゆく区民の学習意欲に応えてい くため、「生涯大学」と「市民大学」の歴史や実績を踏まえ、両大学の理念を生かしつつ、両 大学をそれぞれ充実、発展させ 、事業を展開していく。

* 1 世田谷芸術百華

区民が身近なところで、気軽に文化・芸術に親しむことができる機会を提供するため、 コンサート事業や大道芸などを区内全域で展開する事業。

*2 総合型地域スポーツクラブ 学校体育施設などを拠点に地域住民が主体的に運営するスポーツクラブの形態。複数 の種目が用意され、子どもから高齢者まで地域の誰もが定期的にスポーツ活動や文化 活動を行うことができる。

事業番号	世田谷区文化・芸術振興計画の中長期ビジョンであ		1		
1 「世田谷区文化・芸術版典計画 第28元調整計画 (平成24年度・25年度) に基づき、子どもの制造性を育む事業の実施や若手アーティストや区 (1) 「世田谷区文 (1) 「世田谷区 (1) 「中田径 (1) 「中田区 (1) 「中田径 (1) 「中田区	日本の	発信 所管部	生活文化部		
画 (平成24年度~28年度)) に基づき、テともの 別造性を育む事業の実施や若手アーティストや区 民の文化・芸術活動への支援、また、文化・芸術 化・芸術振興計画 の力を地域社会に活かす取組みやネットワークの 旅成、文化・芸術創造のための基盤整備を総合的 旅成、文化・芸術自造のための基盤整備を総合的 原成、文化・芸術自造のための基盤を備を総合的 原位 原位 原位 原位 原立 原立 原立 原立	画(平成24年度~25年度)」に基づき、子どもの 創造性を育む事業の実施や若手アーティストや区 1 民の文化・芸術活動への支援、また、文化・芸術 別力を地域社会に活かす取組みやネットワークの 形成、文化・芸術創造のための基盤整備を総合的 に推進する。 2 区民の身近なところで文化・芸術に親しむ機 会を提供する「世田谷芸術百華」*1を開催する。 2 世田谷芸術百華の開催、参加 者数 (万人) 第2期世田谷区文化・芸術振 興計画の検討・策定 平成24年度 ①世田谷芸術百華の開催、参加者数25万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞 3所と 2件 (5所) (6所) (6) (7) (7) 音楽文化の振興 (8) 区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 (9) ((仮称) 第2期世田谷区文化・芸術振興計画」の検討 事業費 12,006 千円 平次別 事業費 12,006 千円 平成24年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施 (8) (6) でで音楽文化の振興 ③国に仮称)第2期世田谷区文化・芸術振興計画」の検討 事業費 12,006 千円 「10) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7				
創造性を育む事業の実施や若手アーティストや区 Rの文化・芸術活動への支援、また、文化・芸術 (化・芸術振興計画) 1 世田谷区文 (化・芸術振興計画) の力を地域社会に活がす取組みやネットワークの形成、文化・芸術創造のための基盤整備を総合的 (定推進する。 2 区民の身近なところで文化・芸術に親しむ機会を提供する「世田谷芸術百華」**を開催する。 2 区民の身近なところで文化・芸術に親しむ機会を提供する「世田谷芸術百華」**を開催する。 9 開催	創造性を育む事業の実施や表表に、文化・芸術の力を地域社会に活かす取組みやネットワークの第成文 文化・芸術間造のための基盤整備を総合的に推進する。 2 区民の身近なところで文化・芸術に親しむ機会を提供する「世田谷芸術百華」*1を開催する。 の を				
### 世田谷区文化・芸術振興計画 目標 計画の推進 計画の推進 表演 計画の推進 表演 計画の推進 表演 計画の推進 表演 記成度 100% 100% 100% 100% 100% 100% 25 27 表演 表述成度 124% 70% 19 表述成度 124% 70% 目標 計画の検討 計画の策定 27 27 27 27 28 27 28 27 28 27 28 27 27	世田谷区文化・芸術振興計画	1)「世田谷区文 化・芸術振興計画 第2次調整計画(平 成24年度〜25年 度)」の策定 2)世田谷芸術百華 の開催 参加者数 22万人	1)「世田谷区文 化・芸術類計画(第2次調整計画(東24年度~25年 度)」の推進 2)世田谷芸術百年 の開催 参加イ仮称)第2期 世田谷区文 3)「(仮称)第2期 世田谷区文 で が、第2期 世田経典計画」の策定	3 5	
中央 中央 中央 中海 中海 中海 中海 中海	中度別				
全成の	年度別 目標と実				
日標と実	世田谷芸術百華の開催、参加 目標 実績 達成度 1				
者数 (万人) 接成度 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 124% 70% 1200	者数 (万人)	-	-		
124%	第2期世田谷区文化・芸術振 興計画の検討・策定	31	19		
東書川田田谷区文化・芸術振 東計画の検討・策定 東護 計画の検討 計画の策定 100%	東記明世田谷区文化・芸術版 実績 達成度 1 達成度 1 達成度 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	124%			
興計画の検討・策定	興計画の検討・策定				
華成度	産成度				
 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数25万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 年次別 ①地域文化芸術振興事業の実施 10件 ③商店街とアート事業の実施 2件 ⑥むせたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 ⑨「(仮称)第2期世田谷区文化・芸術振興計画」の検討 事業費 12,006 千円 平成24年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数17万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 ②下ートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 10件 ①世田谷芸の開催 参加者数19万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 7件 	 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数25万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 年次別 争地域文化芸術振興事業の実施 2件 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 ⑨「(仮称)第2期世田谷区文化・芸術振興計画」の検討 事業費 平成24年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 年次別 争地域文化芸術振興事業の実施 10件 ⑤商店街とアート事業の実施 2件 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 ⑧・ 		* *		
事業費 12,006 千円 18,141 千円 平成24年度末実績 平成25年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数19万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(受賞者による作品発表展) 5部門 4地域文化芸術振興事業の実施 ④地域文化芸術振興事業の実施 7件	事業費 12,006 千円 平成24年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②け ②アートネットワーク会議の開催 1回 ②方 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ③第 年次別 (少地域文化芸術振興事業の実施 10件 ④均 ⑤商店街とアート事業の実施 2件 ⑤店 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ②音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 8-	①世田谷芸術百華の ②アートネットワー ③第3回世田谷区芸術 よる作品発表展) ④地域文化芸術振興 ⑤商店街とアートす ⑥せたがや文化興 ⑥音楽文化の振興 ⑧一	回開催 参加者数27万 - ク会議の開催 1回 術アワードの実施 (5部門 県事業の実施 10件 事業の実施 2件 , プ改訂版の発行 文化・芸術振興計画	受賞者 」の第	
平成24年度末実績 平成25年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(受賞者による作品発表展) 5部門 年次別 ④地域文化芸術振興事業の実施 10件	平成24年度末実績 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数 31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 10件 ⑤商店街とアート事業の実施 2件 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 8-	0 7 2 02 1/2 2 1/1			Н
①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 3第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 4地域文化芸術振興事業の実施 4地域文化芸術振興事業の実施 10件 ①世田谷芸術百華の開催 参加者数19万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(受賞者による作品発表展) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 7件	①世田谷芸術百華の開催 参加者数31万人 ②アートネットワーク会議の開催 1回 ③第3回世田谷区芸術アワードの実施(募集・賞の授与) 5部門 ④地域文化芸術振興事業の実施 10件 ⑤商店街とアート事業の実施 2件 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 ⑧・	₩ 1			. •
 ⑥せたがや文化マップの発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧区民の文化・芸術活動実態調査等の実施 ⑨「世田谷区第2期文化・芸術振興計画」の検討 ⑥せたがや文化マップvol. 2の発行 20,000部 ⑦音楽文化の振興 ⑧ − ⑨「世田谷区第2期文化・芸術振興計画」の策定 		①世田谷芸術百華の ②アートネットワー ③第3回世田谷区芸 よる作品発表展) ④地域文化芸術振興 ⑤ はたがや文化マッ ⑦音楽文化の振興 ⑧ ー	○開催 参加者数19万 -ク会議の開催 1回 術アワードの実施(約 5部門 県事業の実施 7件 事業の実施 1件 ップvol. 2 の発行 20 ,	受賞者 000部	3
	事業費 11,803 千円		16, 119	千	円

2年間の 実績・達 成度に対

「世田谷区文化・芸術振興計画第2次調整計画」に基づき、地域の文化・芸術活動への支援や商店街 との連携による事業、若手アーティストの飛躍する機会の創出など、様々な取組みを行った。世田 谷芸術百華への参加者数は、天候によって増減がみられたが、多くの区民が身近な地域で文化・芸 成度に対 術にふれることができ、「文化・芸術を育む個性あふれるまち世田谷」の実現に向けて、まちの魅 力を高めることができた。

*1 世田谷芸術百華 区民が身近なところで、気軽に文化・芸術に親しむことができる機会を提供するため、コンサート事業や大道芸などを区内全域で展開する事業。

《関連する計画》 世田谷区文化・芸術振興計画第2次調整計画

構成する予算事業	予算事業名	所管課名
(25年度)	文化・芸術振興計画の推進	文化・国際課

事業番号	1802	事業名	生涯学習	・郷土の	歴史文化	の振興	所管部	教育委員会事務局			
	発の推進	をするとと		上の地理的	り・歴史的			。また、文化財等 σ 着を持ち、世田谷 σ			
	1 区民(の生涯学習	7活動の支持	爰を行う。				i目標	事業	美分類	
			心財制度に。				年度末	平成25年度末	L	分類	
事業内容	や講習会(3 郷土(る。小・「 示・ゲス	により文化 の歴史・文 中学校等に トティーチ 史的・文化	工、文化財 文化財及 工化等の学 でないでので、立 での資源に が で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	・啓発を推 習・体験を 遺跡見学 <i>会</i> 豊等を行い	推進する。 注進す ☆※次回展い、子ども	定 (計77 2)子ども7 史的・文化 に触れ、化	7件) たちが歴 化的資源 本験でき	1) 文化財保護、保存の拡充 2) 子どもたちが歴史的・文化的資源に触れ、体験でる機会の提供	3 5	3	
					-	平成24年度	ŧ	平成25年月	度	•	
				目標				生涯学習活動の			
	生涯学習の	の推進				学習活動の支援		生涯学習活動の支援		Ž	
				達成度	100%			100%			
年度別 目標と実績	文化財ボ	ランティア	`養成(講	目標 実績		1 1		1			
日保乙夫順	座)							100%	•		
						5			3		
		財・登録文	化財	実績	5		3				
	(件)		•	達成度		100% 100%					
	平成24年度							平成25年度			
年次別 計画	②文化財 (文化財 成、文化 3郷土の	の登録・指 化財に関す 歴史・文化	: 啓発の推済 記念 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述	材ボランラ の実施) ・体験の推	進(遺跡	②文化財 (文化財 成、文化 3郷土の	等の保護と の登録・指 化財に関す 歴史・文化	計動の支援注啓発の推進計算会の実施☆ ではいまでは☆ できるできる☆ できるできる☆ できるできる☆ できるできる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる☆ できる※ できる※	推進 (遺跡	
事業費	_	_	_	49,860	千円	_	_	28, 562	2 千	刊	
		平成	24年度末	実績			平瓦	成25年度末実績 			
		生涯学習活		•		①区民の生涯学習活動の支援					
i	②文化財等の保護と啓発の推進					②文化財等の保護と啓発の推進					

	平成24年度末実績	平成25年度末実績
	①区民の生涯学習活動の支援	①区民の生涯学習活動の支援
	②文化財等の保護と啓発の推進	②文化財等の保護と啓発の推進
年次別	(文化財の登録・指定、文化財ボランティアの養	(文化財の登録・指定、文化財ボランティアの養
実績	成、文化財に関する講習会の実施)	成、文化財に関する講習会の実施)
	③郷土の歴史・文化等の学習・体験の推進(遺跡	③郷土の歴史・文化等の学習・体験の推進(遺跡
	見学会、巡回展示、ゲストティーチャーの派遣	見学会、巡回展示、ゲストティーチャーの派遣
	等)	等)
事業費	48.746 千円	24.959 千円

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

世田谷区リカレント学習連携講座の開催、区内大学・短期大学公開講座情報誌の発行、せたがや e カレッジに文化創造塾の講座を開講するなど、区民、団体、区内大学等との役割分担と連携によ り、区民の生涯学習活動を支援することができた。当初の目標どおり、文化財の登録・指定を進め、文化財等の保護を図ることができた。また、文

化財ボランティア養成講座を実施し、文化財ボランティアの活用を推進できた。 郷土の歴史・文化等の学習・体験も計画的に行い、子どもたちが歴史的・文化的資源に触れ、体

験できる機会を提供することができた。

《関連する計画》 世田谷区教育ビジョン第3期行動計画

# A L z z kk 士 W	予算事業名	所管課名
構成する予算事業 (25年度)	生涯学習の推進	生涯学習・地域・学校連携課
(20 + 1/2)	文化財指定・保存助成	生涯学習・地域・学校連携課

事業番号	1803	事業名	生涯スポ	ーツの振	興		所管部	スポーツ推進担当部	ß	
ねらい		ーションに						つまでも」気軽にス 「スポーツの世田谷		
			『一ツクラ゛				計画	目標	事業	(分類
事業内容	ポーツの技 2 大蔵 行い、スス 整備を行っ 3 平成2	振興を図る 第二運を図場 ポーツ ○5年度開催 会を成功さ	。 けを含めた。 クリエー: この東京国	総合運動場 ションに親 体・全国障	/機運を盛	1)総一型 4地域6ク 2)総備 3)東 3)東 3) 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	ラブガ 動場の 動画の ・ 一 が 大 数 一 は 大 は に に に に に に に に に に に に に	平成25年度末 1)総合型地域スポーツクラブ数5地域8クラブ2)総合運動場中長期整備計画の策定3)東京国体・全国障害者スポーツ大会実施	3 5	分類 2
						平成24年度		平成25年月		
	総合型地均	或スポーツ	クラブ	目標		地域7クラ	,	2 (5地域8クラ		
	(クラブ製	· ·	, , ,	実績	0 (4	<u>地域6クラブ)</u> 0%		1 (4地域7クラブ) 50%		
年度別				達成度 目標		0% 検討				
	総合運動場	岩中長期 較	備計画	実績		検討				
T IN C JUIS	//L L XE 237%	<i>M</i> X/91E	E I I I I I I I	達成度 100%				100%		
	本本団 (4)	人民陸生	ナナッユ	目標				本大会実施		
	果尽国体ツ大会	• 全国障害	者スホー	実績				本大会実施		
	ノ八云			達成度		100% 100%				
	O 10 A		平成24年度			0.10.4.4.11		平成25年度		
be vi an			・ツクラブ(の増設				-ツクラブの増設		
年次別 計画	5地域72		敷借計画/	の捻針		5地域8		敗借計画の検討		
可凹	②総合運動場中長期整備計画の検討 ③東京国体・全国障害者スポーツ大会リハーサル 大会実施					②総合運動場中長期整備計画の検討 ③東京国体・全国障害者スポーツ大会実施				
事業費				78, 439	千円			181, 641	Ŧ	円
		平点	24年度末3	実績			平中	25年度末実績		
	①総合型均		·ツクラブ(①総合型¹		<u>・</u> ツクラブの増設		
年次別	4地域6:					4地域7				
実績	実績 ②総合運動場中長期整備計画の							整備計画の検討	- 1.1 ←	
	③東京国位 大会実施		害者スポ	ーツ大会り	ハーサル	③東京国位	体・全国障	賃害者スポーツ大会 身	長 施	
事業費	八云夫	也		67. 762	千円			160, 694		-円
尹耒貸				U1, 10Z	I H			100, 094		门

①総合型地域スポーツクラブについて、平成24、25年度にそれぞれ1クラブの設立を目指したが、平 成25年4月に1クラブのみの設立となった。

2年間の ②総合運動場中長期整備計画は、近年の社会情勢や施設の老朽化への対応などを考慮し、策定に向 実績・達けたスケジュールの再検討を行った。

成度に対 ③スポーツ祭東京2013については、平成24年度のリハーサル大会の経験を踏まえた本大会を開催 する評価し、より広く区民に参加いただくとともに、「スポーツの世田谷」を全国に広く発信することがで きた。また、区民や産業界、競技団体などにより構成する世田谷区実行委員会を中心に、全区的な スポーツの機運醸成と推進を図り、成果があった。

*1 総合型地域スポーツクラブ 学校体育施設などを拠点に地域住民が主体的に運営するスポーツクラブの形態。複数の種目 が用意され、子どもから高齢者まで地域の誰もが定期的にスポーツ活動や文化活動を行うこ とができる。

《関連する計画》 世田谷区スポーツ振興計画、世田谷区スポーツ推進計画

	予算事業名	所管課名
構成する予算事業 (25年度)	生涯スポーツの振興	スポーツ推進課
	国体・全国障害者スポーツ大会	スポーツ推進課

事業番号	1804	事業名	知と学び の図書館		の情報拠点	として	所管部	教育委員会事務局		
ねらい	図書館	を地域の知	ロと学びと	文化の情	青報拠点とし	て充実させ	せ、生涯学	習活動の基盤づくり		•
	文化の情報 域の読書 応じた図 2 第2次 進し、家	報拠点とし 環境の向上 書館の運営 て世田谷区	ンて図書館 こを図る。 さなどの取 子ども読書 学校にお	機能を充また、地 また、地 組みを進 活動推済	進計画を推 ざもたちの読	平成23 1) ン・推計子とは動第2次 推動学権計算である。 第1第2 推計子とは、 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	年度末 17の 17の 17の 17の 17の 1800 1800 1900		2 2	· 分類 分類 3
				目標		平成24年度 ジョン第25		平成25年度 図書館ビジョン第23 画の推進及び同第33 画の策定	期行重	
	図書館ビジョンの推進		宝寿 凶書		画の推進			図書館ビジョン第2期行動画の推進及び同第3期行動画の策定		
				達成度	F 2	100%		100%		
年度別 目標と実績	生の場で フェ	3.4 註事江公	≈1.1// ∵/ // c ⇒1.	目標	画第1期行ブックリ	第2次子ども読書活動推進計 画第1期行動計画の推進 ブックリストの作成50,000部 団体貸出 98,000冊		第2次子ども読書活動 画第1期行動計画の 同第2期行動計画の ブックリストの作成 団体貸出 98,000冊	推進及 策定 55,0	をび
	第2次子ども読書活動推進計 画の推進		到71年1年6日	実績	画第1期行ブックリ	ぎも読書活動計画の持 ストの作成 108, 357十	推進 え66,600部	第2次子ども読書活動 画第1期行動計画の 同第2期行動計画の ブックリストの作成 団体貸出 103,237	推進及 策定 [72, 0	及び
				達成度	Ę.	133%、111%		131%、105	%	
年次別 計画	(仮称) ②地域特 ③家庭・:	ネットワー)喜多見ま 性を活かし	平成24年度 - ク及び施 - ちかど図 - た資料展 - たでいる - たでいる - たでいる - たでいる - たいでしている - たいでものできる。 - でいる - で - でいる - でいる - でいる - でいる - でいる - でいる - でいる - でいる - で - で - で - で - で - で - で - で - で - で	設の整備 書室開室 示・事業	図 変の実施	代田図 ②地域特 ③家庭・5	ネットワー 書館開館準 性を活かし	た資料展示・事業の なにおける読書活動へ	実施	
事業費				12, 20	05 千円			12, 480	Ŧ	·円
FVL DI	喜多見 ②地域庭・: ③家庭・ ブロ体 日子ども	ネ またかい ッ ちを がいい かかい かかい かい かい で がい い の イ の イ も で り の れ り る り る た が い か い か い が い り れ い り に り に り り り り り り り り り り り り り り り	ブーの育成	実績 設の整備 示・事業 記書活動	情・充実 きの実施 かへの支援	代田図乳 ②地域特・ ③家庭・ ブック 団体 ども ・	ネ書館活り ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	成25年度末実績 -ク及び施設の整備・ 連備 」た資料展示・事業の をにおける読書活動へ F成 72,000部 冊 「一の育成	充実 実施の支	援
事業費	子ども	読書リータ	ダー(子ど	も司書) 11,6(講座開講 00 千円	子ども	読書リータ	ズー(子ども司書)記 12, 114		

図書館ビジョンについては、第2期行動計画に基づき、図書館ネットワークの整備、各図書館での地域特性を活かした資料収集・展示・事業の実施などにより、図書館ビジョンの実現に向けた事業を目標どおり推進することができた。また第2期行動計画を引き継ぐ第3期行動計画を策定し、図書館ビジョン推進の今後の具体的方策を示すことができた。

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

第2次子ども読書活動推進計画については、第1期行動計画に基づき、ブックリストの作成・配布を行い、計画どおり子どもへの読書支援を行うことができた。団体貸出では、区立小・中学校への利用促進の働きかけと、子ども関連機関へのPRを継続して実施し、2か年とも目標を上回る実績をあげることができた。子ども読書リーダー(子ども司書)講座を平成24年度から開催し、子どもが主体となった読書活動の推進に向け、人材の育成・支援を進めることができた。また第1期行動計画の期間満了に伴い、第2期行動計画を策定し、引き続き子どもの読書活動推進に取り組む方策を示すことができた。

《関連する計画》 世田谷区教育ビジョン第3期行動計画、世田谷区立図書館ビジョン第2期行動計画 第2次世田谷区子ども読書活動推進計画第1期行動計画

الادام المعادة	予算事業名	所管課名
構成する予算事業 (25年度)	生涯学習拠点としての図書館の充実	中央図書館
	子ども読書活動の推進	中央図書館

事業番号	1805	事業名	世田谷区			創造と	所管部	生活文化部			
4 八田 7	1000	7 八口	交流の場	」の再構	築		// 日 日	工口人口的			
ねらい	維持しつため、(作	つ、両大学	との交流を図 日谷区立健原	図り、世田	日谷区にお	ける新たな	ょ「学問の	これまでの運営理念 創造と交流の場」を わせて効率化の観点	構築	する	
			学の歴史を					目標	事業	(分類	
			業展開を図				年度末	平成25年度末	L	分類	
事業内容	交流施設 く。運営(営のスリ	(池尻二) にあたって ム化を図る できる等、	(仮称) 世日 日) を中心 こ、事務局相 らとともに、 場所につい	ふとして追 後能を一体 双方の授	生めてい な化し、経 受業を受け	1)市民大学 大学のあ		1)市民大学移転先 での運営開始 2)両大学の運営方 針確定、合同事務 局設置の準備 3)生涯大学移転準 備		2	
					1	F. Do 1 6- 15			4		
						平成24年度		平成25年月	•	'-H-:	
年度別 ^{目標と実績}	「学問の創造と交流の場」の			目標 市民大学 実績 市民大学							
日保こ夫限	再構築		•		1 1 1						
						100/0	- 100% -				
年次別 計画	の見直し 生涯大学	:受講料改 の検討	文定、移転 ² 文定、カリギ	準備、カリ		中成25年度 ム 市民大学:移転先で運営、充実、発展 両大学の運営方針確定、合同事務局設置の準備 運 生涯大学:移転準備					
事業費				_	千円			_	Ŧ	-円	
		平点	24年度末第	 孝績			平日	戈25年度末実績			
年次別 実績	受講生受.	: 受講料改入準備、平 : 平成25、	文定、移転等 成26年度: 26年度カリ	記了、平原 カリキュラ	ラム検討	両大学の	: 移転先で	で運営、充実、発展 筆定、合同事務局設置	置の準	備	
事業費					千円				Ŧ	-円	
2年間の	E W HH	の会に生して	.)			D 1		w			

する評価

2年間の 実績・達 党を世田谷区立健康増進・交流施設に移転を完了し、それぞれ次年度より運営を開始した。事務局 成度に対 する評価

本事業単独での予算額はなし。

実施計画 事業名	区民参加・協	働のまちづ	くりの推進	関 係 生活文化 所管部 政策経営						
目標	町会、自治会をはじめとした地域活動団体の自主的なコミュニティ活動を支援するとともに、NPO等の活動を促進し、協働によるまちづくりを目指す。 また、区民との情報共有を一層進めるとともに、地域のコミュニティ活動の担い手である区民、事業者、区相互の協働をさらに推進する。									
事業目的	より、地域コミュニティの場を整備し、区民参加と協働のまちづくりを推進する。 また、区政に関する情報の提供を充実させるとともに、区の主要な計画などに区民の意見を 反映する仕組みを整備し、協働の前提となる区民参加の仕組みを強化する。									
		指標名		平成23年度末	平成25年度末					
	1)地域の絆推進事業	における連携団	1,400団体 (見込み)	1,500団体						
	2)NPO等との協働	件数		260件 (見込み)	280件					
成果指標			成果指標設定の考える	方						
	・「地域の絆推進事業」の実施により、地域活動団体が連携しながら地域の課題に取り組む活動が、区民による自主的なコミュニティ活動を活性化させることから、同事業における連携団体数を目標とする。 ・NPO等との協働により市民活動が促進されることから、庁内における協働件数を目標とする。									
事業費	総事業費		平成24年度	平月	成25年度					
計画	90,513千円		47,006千円	43,507千円						
実績	78,980千円		42,109千円 平成24年度		,871千円 -1:25年度					
	 地域の絆推進事業	目標	<u> </u>	平成25年度 1,500						
	における連携団体	実績	1,500		1,564					
	数(団体)	達成度	103%		104%					
績	NPO等との協働ー	<u>目標</u> 実績	270 300		280 308					
	件数(件)		111%		110%					
2年間の 実績・達 成度に対 する評価	れ、それらの団体が 体も非常に多くなり	、さらに多くの 、多様な絆づく て、NPO等と	ってきたことにより、氵 D団体と連携をもって ^は くりが進展した。 この協働事業も少しづ ^っ	也域の課題に取り糺	目んだ結果、連携団					
事業体系	区民による自主的まちづくりの支援やNPO等の活動支援【事業番号 1901】 町会・自治会をはじめとした地域活動団体の多様な活動を支援する事業の展開によって、区 民が自ら地域の課題を解決できるコミュニティづくりを支援する。 区民等から提供を受けた空き家・空き室・空き地等、地域の未利用資源を利活用することに より、地域コミュニティの場を整備し、区民参加と協働のまちづくりを推進する。									

事業番号	1901	事業名		る自主的 〇等の活		りの支	所管部	生活文化部 総都市整備部	合支所	
ねらい	自ら地域 また、N	の課題を解	ア決できる 京民活動団	コミュニラ 体の自立や	ーィづくり Pネットワ	を支援する 一ク強化を	ó。 と支援する	事業の展開によ とともに、市民		
事業内容	動絆2活う3支4健り5る6きり団推 動。 援 福、 意 地、体進町の 災体な祉市職識区等地の事会活 害制か等民員を民、域	コ自業・性 時のま惟活研高等地コちミ主」自化 に充ち進動修めか域ミづュ的を治に 備実N基の等るらのュくニな実会向 えをP金促を。提未ニりデ活施へけ た図Cの進通 供利ラを	話でかた にこうのにう は川子のた 地るセ活とじ を買ったる加取 域。ン用区で 受資の支。入組 の タにと、 け源場援 促み 助 一よの市 たをを	す 進に け のる協民 空利整る 等対 合 運協働活 き活備た 、す い 営働を動 家用しめ 町る 活 管促推や ・す、め てる 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇 勇	「 ・援 に や事す働 きこい ・援 に や事す働 きこい か はに。対 ・にの 会 、 保よ す 空よ	平成23 1)地域の 業におけ 体数 1,4 2)NPO 働件数 26	年度末 絆推進事 る連携団 400団体 等との協	目標 平成25年度 1) 地域の絆推進 業における連携 体数 1,500団 2) N P O 等との 働件数 280件	末 L 事 詩団 体	<u>分類</u> 分類 2
年度別 目標と実 績	携団体数	推進事業に (団体) との協働件		目標 実績 達成度 目標 実績 達成度		平成24年度 1,450 1,500 103% 270 300 111%	Ę	平成 1, 5 1, 5 10 28 30	500 564 4% 80	
年次別計画	② ③ ③ (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	動自に 動国 は は は は は は は は は は は は は	hの活性化け に が が が が が が が が が が が が が	を 支 支 が 大 で で で で で で で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	対組み支援 の推進に向)等への支 を 室・空き	③災害時に備えた地域の助け合い活動の推進に 向けた支援 ④なかまちNPOセンターによるNPO等への 支援 ⑤中間支援組織のネットワークの構築				
事業費				47, 006	千円		ュニティの		, 507 - 1	一円
年次別実績	② ③ ③ (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	動団体の自 自治会活動 に備えた地 援	hの活性化け に が な が が が が が が が が が が が が が	の支援 1 のに合い A N P C の 300件 きるが発	対組み支援 の推進に向)等への支 室・空き	②③ ④ ⑤⑥⑦ ・ ・時だま 支O等等ミ谷 ・時だま 支O等等ミ谷	動自に支ち 援等か、ユ 区ら 団治備援N 組とら地ニ 空し 体会え P 織区提域テ きい の活た O のと供のイ 家空	成25年度 (25年度 (1) 主的 (1) 主的 (2) 主的 (3) 主 (4) 主 (4) 主 (5) 主 (6) 主 (7) 主 (7) 主 (8) 主 (8) 主 (9)	けた取の 「P (ない ない ない ない ない でいました。 でいまれば、 にっな、 でいまれば、 でいまれば、 でいまれば、 でいまれば、 でいまれば、	支にの空地営
事業費				42, 109	千円	IA/NOT	1	36	, 871	-円

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

地域の絆事業は、継続的に実施してきたことにより、浸透し、多数の団体から申請がなされ、それらの団体が、さらに多くの団体と連携をもって地域の課題に取り組んだ結果、連携団体も非常に多くなり、多様な絆づくりが進展した。

区の各所管において、NPO等との協働事業も少しづつ増えており、協働の浸透と、施策への区民参加が活発化している。

*1 中間支援組織 NPO等の地域活動団体と区民、事業者、行政等のコーディネートや、その活動を支援する団体。

	予算事業名	所管課名		
構成する予算事業	自主的コミュニティづくりの支援	市民活動推進課		
(25年度)	災害時地域助け合い活動支援	市民活動推進課		
	市民活動の促進	市民活動推進課		

実施計画事業を構成する事業											
事業番号	1902	事業名	区民参加、	参画の	拡充		所管部	政策経営部			
ねらい	への意見る。	や提案を受	とける広聴機	能を充実	ましていく		、区民の	共有化を図ると 区政への参加参			
			ページなどの				計画目標			事業分類	
事業内容	報機能を	充実すると	川用しやすい:ともに、バ 広聴機能の:	ブリック	コメント	平成23 1)ホームの システムの 向けた取約 2)広報・原 の充実に「 組み、検	ページ新 ル導入に 組み 広聴機能 句けた取	平成25年度 1) 新ホームペー の運用・充実 2) 広報機能の充 策の推進 3) 広聴機能の充 策の推進	ジ	1	分類 4
					-	L 平成24年度	÷	平成25	5年度		
年度別	1) 0	· · · · · ·	* b 1 - 34/.	目標		<u> </u>		約370	, , , ,		
日保と夫婦		ホームページへのアクセス数 (トップページ)			約366万件			約257	万件		
	(トツノ・	<u> </u>		達成度		101%		69	%		
	O los		平成24年度					平成25年度			
年次別 計画	①新ホームページの運用・充実 ②広報機能の充実策の検討・推進 ③広聴機能の充実策の検討・推進					①新ホー、 ②広報機能 ③広聴機能	能の充実第				
事業費				_	千円				_	千	円
		平点	24年度末実	績			平月	成 25年度末実績			
年次別 実績	②広報機能	ムページの 能の充実第)運用・充実 の検討・推 の検討・推	進		①新ホームページの運用・充実 ②広報機能の充実策の推進 ③広聴機能の充実策の推進					
事業費				_	千円					千	円
2年間の 実績・達 成度に対	アクラ観い とう と 減少 は こ と 考 と が こ と 考 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ス数につい 点でいる いるが、を 用剤さいが を を を の の の の の の の の の の の の の の の の	・一アルし、 トページへ直 ぎのページを	23年度を 目標を 接アクセ 「お気に 総計 平 平	を成できた。 アスできる	,平成25年 ため、アク 録や検索サ (9~3月)	E度は、ト ヤス数全 イトで直 約628万件		アクセ してい	ス数 る。	なは こ

*1 パブリックコメント 区民意見提出手続といい、区民生活に広く影響を及ぼす区の基本的な施策などを策定する過程に おいて区民が意見を述べる機会を設け、区政への区民参加の促進を図るための制度。

え、区政に対する理解を深めることができ、区民の区政への参加・参画が促進された。

行政情報や日常にかかわりの深い事業・施設情報等を、様々な情報提供手法を活用して区民に伝

区民の区政に対する様々な意見や要望を収集・把握することにより、各所管課の事務事業や政策

本事業単独での予算額はなし。

する評価 ②広報機能の充実策の推進について

③広聴機能の充実策の推進について

形成など区政運営の参考に資することができた。

実施計画事業

実施計画事業名	男女共同参画	の推進		関係 所管部 子ども・	部							
目標	男女が、互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、互いに協力し合って、それぞれの個性と 能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を目指す。											
事業目的	り組む。 仕事と家庭・地域	仕事と家庭・地域生活の両立支援に向けて、啓発や支援などの取組みを推進し、一人ひとり がライフ・デザインやキャリア・デザインを描き、実現できる環境を整備していく。										
		指標	票名	平成23年度末	平成25年度末							
	1)男女共同参画に関		重講座などの参加者数	4,500人	5,000人							
成果指標	2)区の審議会などで	女性委員	員の占める割合	28.1%	32.0%							
/及木7日1宗			成果指標設定の考える									
	などに参加した人数ができるため、参加2)区の政策、方針	の増加か 者数を成 決定過程	の意識改革の取組みとして、名が、男女共同参画の取組みに対 成果指標とする。 足への女性の参画が進むことに 重要なため、割合を成果指	対する関心を示す数 は、女性の意見を反	対値として測ること							
事業費	総事業費		平成24年度	平月	成25年度							
計画	107,525千円		56,509千円	51,016千円								
実績	106,350千円		55,680千円	50,	50,670千円							
	_		平成24年度	平月	成25年度							
	男女共同参画に関	目標	4,500	5,000								
年度別	する各種講座など _	実績	5,883		7,453							
目標と実	の参加者数(人)	達成度	131%		149%							
績	区の審議会などで	目標	30.0		32.0							
	女性委員の占める	実績	28.9		29.1							
	割合(%)	達成度	96%		91%							
2年間の 実績・達 成度に対 する評価	た、ワークライフバ	ランスの	聲の占める割合は、目標数値Ⅰ ○観点からの区民及び区内企業 対する各種講座の参加者数がス	業への啓発、男女夫	‡同参画センターの							
事業体系	男女共同参画促進 ライフ・バランス*1 また、男女共同参 画センターとしての ドメスティック・バ	に向けた)」の耳 画センタ 機能の充 イオレン	会の活性化【事業番号 20 : 啓発や支援を通し、男女がる 別れた生き方のできる社会の アー"らぷらす"の事業の充実 に実を進め、認知度を向上され アス(DV)の根絶【事業番	ともに「仕事と生活 構築を進める。 実や情報発信の強化 せて区民利用の拡大 号 2002】	となど、男女共同参 てを図る。							
	関係機関とも連携 根絶に向けた啓発や		ら、事業の充実を図り、ドメス への支援を進める。	スティック・バイス	†レンス(DV)∗₂							

* 1 ワーク・ライフ・バランス

働く人が、家庭や余暇などの仕事以外の生活と仕事を両立していくことができる状態。

*2 ドメスティック・バイオレンス(DV) 配偶者や恋人など親密な関係の中での身体的・精神的・性的・経済 的暴力 や子どもを巻き込んだ暴力。

事業番号	2001	事業名	男女共同 性化	参画によ	る地域社会	会の活	所管部	生活文化部 産 子ども・若者部		羽
ねらい	がそれぞれまた、男	れの個性と 女共同参画	能力を十分	分発揮でき が、男女#	る社会を構	構築する。		に基づく取組み の役割を十分に		
					間」*!等を			目標	事	業分類
事業内容	活の 調和 2 で の 男 男 は 、 う は 、 う は の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の も る る の も の も る る の も る る る る る る る る る る る る る	の理念の の・うで 場 が で の・うで の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	生への支援? エンター"! は同参画事!	る。 の の 業 を で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で い に ま で い に に で に に に に に に に に に に に に に	ら 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	数2,000 (大で2000 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100	ウンの でミャル 司ら刊 司ら度・ス参 遊リン者 参ぶ用 参ぶる 画ら延 画らられ 者 しん セーベ セーダ と 14.1%	平成25年度 1) 「 フィリンの 1) 「 1) 「 2) 「 1) 「 2) 「 2	イオーパケーででも、	<u>分類</u>
					7	成24年度		平成2	5年度	
	ГD Э	. ラノフ :	バランス	目標		2, 100		2, 2		
		の参加者		実績		2,400		2, 7		
				達成度		114%		123		
			ファミリー	目標		1,800		1, 9		
年度別		•	/」の参加	実績		1,900		1, 7		
目標と美 績	者数(人)		7. "≿ ≻°	達成度 目標		106%		89 88,		
八八		参画センク 間利用延〜	7ー"らぷ	日 <u>標</u> 実績		85, 000 80, 146		86,		
	(人)	可们用处。	`八郊	<u></u>		94%		98		
		/s s	// >	目標		20		22		
			マー"らぷ	実績		14. 3		_	_	
	らす 認力	知度 (%)		達成度		72%				

	平成24年度	平成25年度
	①「ワーク・ライフ・バランスな1週間」の開催	①「ワーク・ライフ・バランスな1週間」の開催
	参加者数2,100人	参加者数2,200人
	②「地域で遊ぼう!ファミリーデー・キャンペー	
年次別	ン」の開催 参加者数1,800人	ン」の開催 参加者数1,900人
計画	③事業者の男女共同参画促進への支援 先進事業者表彰の実施 1回	③事業者の男女共同参画促進への支援 先進事業者表彰の実施 1回
	□ 元建事業有表彰の美施 1回④区民企画協働事業の実施 4回	元 選手 乗 4 衣 彰 の 美 旭 「 回 ④ 区 民 企 画 協 働 事 業 の 実 施 4 回
	⑤相談事業の実施及び一部見直し検討	⑤相談事業の実施及び一部見直し実施
	⑥(仮称)世田谷区男女共同参画プラン調整計画の	S IMM CONTROL S CARE
	検討、策定	
事業費	51,551 千円	45,788 千円
	平成24年度末実績	平成25年度末実績
	①「ワーク・ライフ・バランスな1週間」の開催	①「ワーク・ライフ・バランスな1週間」の開催
	参加者数 2,400人	参加者数 2,700人
	②「地域で遊ぼう!ファミリーデー・キャンペー	
年次別	ン」の開催 参加者数 1,900人	ン」の開催 参加者数1,700人
実績	③事業者の男女共同参画促進への支援 先進事業者表彰の実施 1回	③事業者の男女共同参画促進への支援 先進事業者表彰の実施 1回
	4 区民企画協働事業の実施 5回	① 区民企画協働事業の実施 5回
	⑤相談事業の実施及び一部見直し検討	⑤相談事業の実施及び一部見直し実施(運営体制
	⑥世田谷区男女共同参画プラン調整計画の策定	の効率化)
事業費	51,225 千円	45,651 千円

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

「ワーク・ライフ・バランスな1週間」等事業を実施し、多くの区民の参加を得ることでワーク・ライフ・バランスの理念の周知が進むとともに、区内の先進事業者を表彰することで企業の男女共同参画促進の意識醸成が図られ、ワーク・ライフ・バランスの観点からの男女共同参画の促進に向けた効果があった。

また、男女共同参画センター"らぷらす"においては、「区民企画協働企業」により地域とのつながりを強化するとともに、らぷらすフェスタ等の事業を充実することで利用者の拡大が図られた。

- *1 ワーク・ライフ・バランスな1週間 1週間にわたり、女性の起業を支援する「わくわくワークフェスタ」をメインイベントとして、企業のトップによるセミナーや女性のチャレンジを支援する事業。
- *2 ワーク・ライフ・バランス 働く人が、家庭や余暇などの仕事以外の生活と仕事を両立していくことができる状態。

《関連する計画》 世田谷区男女共同参画プラン、世田谷区男女共同参画プラン調整計画

	# D 2	予算事業名	所管課名			
村	構成する予算事業 (25年度)	男女共同参画センター維持運営	人権・男女共同参画担当課			
		男女共同参画社会推進事業	人権・男女共同参画担当課			

事業番号	2002	事業名	ドメステ (DV)		バイオレ	ンス	所管部	生活文化部 総 子ども・若者部		ŕ	
ねらい								らという認識をを 絶に取り組んで		本で共	
事業内容	行2に3 の の の の の の の の が を 接 支 が を 接 を 接 を を が を を を を を を を を を を を を	司に見職で矮体行するるを、よ当連のでいる。	業を 実施 記話相。 で に で で 、 で の で で の で の で の で の で の で の で の	する。 継続実施す などで被害 実施てでる。 対してし、 ま 話用し、	売きる 者被D b を と 適者被門 強 を も 切の害的 化	平成23 1) D V 被; 支援事業。 2) 相談事; D V 被害 週1回	年度末 害者同行 窓の実施 業の実施 業者相談 と相談	目標 平成25年度 列 1) D V 被害者同 支援事業の実施 2) 相談事業の拡 D V 被害者相認 週1回 D V 全般相談 週1回 平成28		事業分数 L 分数 3	
年度別 目標と実 績	DV被害 ⁵ 施	者同行支援	等業の実	目標 実績 達成度	-	平成24年度 事業の実施 事業の実施 100%	<u>t</u>	平成26 事業の 事業の 100	実施 実施		
	相談事業の	の実施		目標 実績 達成度	DV被害DV全般和DV全般和DV全般和	泪談 週1	引回	DV被害者相談 週1回 DV全般相談 週1回 DV被害者相談 週1回 DV全般相談 週1回 100%			
年次別 計画	②相談事 DV被 DV全 ③職員研付 ④DV被	害者同行支 業の継続実 害者相談 設相談	1回 1回	実施 充の実施	开修の実施	②相談事 DV被 DV全 ③職員研 ④DV被 2回(研	害者同行支 言者の 者 者 者 相 談 を 者 は り 者 は り る し る き し る き し る き し る き る う る う る う う し う る う し う し う し う し う し	週1回			
事業費				4, 958	千円			5,	, 228	千円	
年次別 実績	②相談事 DV被 DV全 ③職員研付 ④DV被	害者同行支 業の継続 害者相談 般相談	1回 1回	実施 充の実施	肝修の実施	平成25年度末実績 ①DV被害者同行支援事業の実施 ②相談事業の継続実施 DV被害者相談 週1回 DV全般相談 週1回 ③職員研修の実施 1回 ④DV被害者支援団体連絡会の開催と研修の実施 2回(研修は1回) ⑤デートDV中学生向け啓発用小冊子の作成・配					
事業費				4, 454	千円			5,	019	千円	
2年間の	DV電	話相談の拡	充を図る。	とともに、				害者支援団体と		会を実	

2年間の 実績・達 成度に対 する評価

DV電話相談の拡充を図るとともに、被害者支援団体連絡会及び被害者支援団体との研修会を実施し関係機関との情報共有・連携が図られ、加えて区の職員研修を継続的に実施することで被害者の支援を進めることができた。

また、デートDV中学生向け啓発用小冊子を作成し、区内中学3年生全生徒配布することで、DVやデートDVの防止に向けた啓発を強化できた。

*1 ドメスティック・バイオレンス (DV)

配偶者や恋人など親密な関係の中での身体的・精神的・性的・経済的暴力や 子どもを巻き込んだ暴力。

*2 DV被害者同行支援事業

単独での外出や手続きをする際に対人関係に不安を持つDV被害者に対し、付き添いを行う事業。

《関連する計画》 世田谷区男女共同参画プラン、世田谷区男女共同参画プラン調整計画

構成する予算事業	予算事業名	所管課名
(25年度)	ドメスティック・バイオレンスの防止	人権・男女共同参画担当課

3 実施計画事業費

平成24年度~25年度実施計画事業費

(単位:百万円)

收 來日標		- <u>(単位:百万円)</u> 将来目標 事業 費									
主要テーマ											
実施計画事業名	24年度 (決算)	25年度 (決算)	合計								
安全で安心なまち	5,703	6,590	12,293								
地域社会の安全の確保	1,703	1,874	3,577								
1 災害に強いまちづくり	1,550	1,751	3,301								
2 犯罪のないまちづくり	153	123	276								
安全に移動できる都市基盤と区民生活を支える公共交通の整備	2,856	3,761	6,617								
3 ユニバーサルデザインのまちづくり	490	681	1,170								
4 地域道路、交通ネットワークの構築	2,366	3,080	5,446								
区民生活の安心の実現	1,144	955	2,099								
5 サービスを安心して利用できる環境の整備	61	68	130								
6 安心して暮らせる、人にやさしいまちづくり	1,083	887	1,970								
魅力的で活力あふれるまち	454	1,066	1,520								
にぎわいのあるまちづくり	387	943	1,329								
7 世田谷のにぎわいアップ	387	943	1,329								
世田谷だからできる魅力ある産業の振興	67	124	191								
8 地域産業の活性化	28	83	111								
9 魅力ある都市農業の推進	39	41	80								
健康でやすらぎのあるまち	3,972	4,434	8,406								
水と緑が豊かで美しいまちなみのある世田谷づくり	3,833	4,305	8,139								
10 やすらぎのあるまちづくり	3,833	4,305	8,139								
快適な環境で持続可能な地域社会の実現	118	108	226								
1 1 「環境都市」世田谷の実現	118	108	226								
健康づくり・疾病予防の推進	20	21	41								
12 健康づくりから介護予防までの一貫した取組み	20	21	41								
世田谷の文化を育み、未来が輝くまち	5,824	5,818	11,642								
次代を担う人づくり	1,566	1,493	3,059								
13 配慮の必要な子どもへの支援	568	506	1,074								
14 地域とともに子どもを育てる教育	25	28	52								
15 魅力ある学校づくり	973	960	1,933								
安心して子どもを育てられる環境づくり	4,119	4,111	8,230								
16 多様な子育て支援	3,892	3,854	7,746								
17 子どもを守る仕組みづくり	227	257	484								
世田谷の文化・個性を活かしたまちづくり	140	214	354								
18 世田谷の文化・個性を活かしたまちづくりと生涯スポーツの推進	140	214	354								
区民が創るまち	98	88	185								
協働のまちづくり	42	37	79								
19 区民参加・協働のまちづくりの推進	42	37	79								
男女共同参画推進のまちづくり	56	51	106								
2 0 男女共同参画の推進	56	51	106								
合 計	16,051	17,996	34,047								

特別会計を除く